

令和3年（2021）年度 前期授業評価アンケート分析報告書

1. 概要

2021年前期授業評価アンケートについて過去2年間の状況と比較した上で、講義形式（①全科目、②オンデマンド講義、③対面授業科目、④ゼミ+卒業論文）ごとに相関行列を用いて分析を行った。

● 分析結果

- ・ 興味関心や満足度、難易度に大きな変化はないが、満足度と学習時間は若干増加している。
- ・ 興味関心、指示の適切性、双方向性と授業満足度の間には正の相関¹があった。
- ・ 難易度と授業満足度の間には相関が確認されなかった。
- ・ わかりやすさと授業満足度の間にも正の相関があったが、オンデマンド講義では若干低下している。
- ・ オンデマンド講義のみ課題分量と授業満足度の方に弱い負の相関が確認された。

● 考察

- ・ 丁寧な講義を行うことで、講義満足度を高めることができると考えられる。
- ・ 対面授業科目、ゼミ+卒業論文では、難易度や双方向性よりもわかりやすさと授業満足度の相関が高いことから、講義方法や講義資料等を改善することで、授業満足度を高めることができる可能性がある。
- ・ オンデマンド講義は、コンテンツ改善による成果は見られるが、課題分量や難易度については検討する余地があると考えられる。特に課題分量は共通化するなど何らかの方針を示すことが望ましいと考えられる。

2. 実施状況

- 2021年度前期授業評価アンケートは次の方法で実施された。
 - 令和3年7月9日（金）～7月15日（木）
 - 前期・通年開講授業科目（集中講義を含む）について実施
 - 対面授業 i-compass を通じて実施し、オンデマンド講義は Microsoft Forms を用いて実施した。

3. サンプルの状況

- 2021年前期開講科目数（春学期開講科目+夏季集中講義・通年科目）は、398である。そのうち、履修生がゼロであるため科目を除外した結果、アンケートが実施できた科目は361である。科目の内訳は下記の図表1の通りである。

¹ 相関係数の評価はギルフォードの規則に従う。0.2未満：相関なし、0.2-0.4：弱い相関、0.4-0.7：中程度の相関、0.7以上：強い相関

図表1 科目の内訳

概要	科目数
2021年度前期開講科目	398
受講生ゼロの科目数	37
アンケート実施科目数	361
(内 訳)	
Web	13
Web+対面	3
集中講義	2
ゼミ	119
卒業論文	13
短大単位互換	10
講義科目	201

- これらの科目より最終的に回収した回答数は8223である。

4. 主要項目の平均値と中央値

図表2 主要項目の推移²

年度	履修者数		回答率		興味関心		難易度		満足度		学習時間 ³	
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
2019	37.46	14.0	0.78	0.8	4.12	4.09	3.8	3.78	4.09	4.01	36.48	30.00
2020	41.15	20.5	0.24	0.18	4.09	4.00	3.69	3.67	4.03	4.00	85.94	82.5
2021	37.79	15.0	0.783	0.83	4.14	4.14	3.75	3.77	4.19	4.21	42.11	38.26

- ・ 1科目あたりに履修者は2020年前期より低下し、2019年前期と同程度となっている。
- ・ 回答率が2020年前期より大幅に増加している。
- ・ 過去2年間と比較しても、“興味関心”、“難易度”には大きな変化はない。
- ・ 満足度や学習時間は若干増加している。
 - 2021年前期は全面オンデマンド講義から対面講義+オンデマンド講義となったため、約40分程度減少した。しかし、2019年前期よりも予習・復習に取り組む時間が増加している。

² 2019年前期と2020年前期のデータは2020年度前期授業評価アンケート報告書より引用した。

³ 学習時間はQ8(あなたは、この授業1回あたり、予習・復習にどのくらい時間をとりましたか(180分以上~0分)<30分刻み>)の値を用いている。これを8段階に分類し、180分以上:180、150分以上~180分未満:165、120分以上~150分未満:135、90分以上~120分未満:105、60分以上~90分未満:75、30分以上~60分未満:45、30分未満:15、0分:0として平均を計算したものをを用いている。

5. 授業満足度との相関性

授業満足度と各項目との相関について、①全科目、②オンデマンド講義、③対面講義科目、④ゼミ+卒業論文について相関行列を用いて分析した。その結果は下記の図表 3- 6 の通りである。

図表 3 全科目の相関行列

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
①【興味関心】	1.000	0.148	0.630	0.587	0.617	-0.042	0.136	0.096	0.686
②【難易度】		1.000	0.170	0.178	0.100	0.233	0.168	0.155	0.044
③【指示の適切性】			1.000	0.689	0.663	-0.025	0.086	0.097	0.656
④【双方向性】				1.000	0.638	0.003	0.097	0.111	0.604
⑤【わかりやすさ】					1.000	-0.022	0.102	0.083	0.665
⑥【課題分量】						1.000	0.156	0.227	-0.096
⑦【予習・復習】							1.000	0.680	0.096
⑧【課題時間】								1.000	0.064
⑨【満足度】									1.000

図表 4 オンデマンド講義の相関行列

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
①【興味関心】	1.000	-0.060	0.633	0.519	0.523	-0.197	-0.015	-0.102	0.699
②【難易度】		1.000	0.020	0.048	0.044	0.227	0.308	0.332	-0.138
③【指示の適切性】			1.000	0.686	0.579	-0.202	-0.046	-0.117	0.683
④【双方向性】				1.000	0.498	-0.141	-0.039	-0.073	0.542
⑤【わかりやすさ】					1.000	-0.049	0.066	0.031	0.559
⑥【課題分量】						1.000	0.238	0.327	-0.302
⑦【予習・復習】							1.000	0.794	-0.114
⑧【課題時間】								1.000	-0.199
⑨【満足度】									1.000

図表 5 対面授業科目の相関行列

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
①【興味関心】	1.000	0.191	0.631	0.602	0.642	-0.011	0.166	0.129	0.682
②【難易度】		1.000	0.212	0.222	0.112	0.234	0.136	0.137	0.086
③【指示の適切性】			1.000	0.684	0.679	0.010	0.120	0.117	0.650
④【双方向性】				1.000	0.665	0.031	0.132	0.114	0.606
⑤【わかりやすさ】					1.000	-0.021	0.121	0.085	0.687
⑥【課題分量】						1.000	0.140	0.214	-0.053
⑦【予習・復習】							1.000	0.706	0.145
⑧【課題時間】								1.000	0.104
⑨【満足度】									1.000

図表6 ゼミ+卒業論文の相関行列

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
①【興味関心】	1.000	0.219	0.594	0.584	0.581	-0.044	0.161	0.097	0.683
②【難易度】		1.000	0.168	0.146	0.125	0.229	0.148	0.073	0.070
③【指示の適切性】			1.000	0.683	0.656	-0.056	0.059	0.122	0.628
④【双方向性】				1.000	0.634	-0.060	0.061	0.121	0.631
⑤【わかりやすさ】					1.000	-0.045	0.025	0.026	0.645
⑥【課題分量】						1.000	0.128	0.145	-0.142
⑦【予習・復習】							1.000	0.509	0.073
⑧【課題時間】								1.000	0.040
⑨【満足度】									1.000

● 分析結果

- ・ 興味関心、双方向性と授業満足度は正の相関であった。
 - オンデマンド講義は、他の講義形式と比較すると興味関心と授業満足度の相関が強い。
 - 2020年前期と比較すると、負の相関から正の相関に変化していることから、コンテンツの水準は2020年前期よりも改善されたと考えられる。

- ・ 指示の適切性と授業満足度は正の相関であった。
 - 対面講義科目よりもオンデマンド講義の方が授業満足度との相関が強い。オンデマンド講義では学生への指示が十分に伝わっていない可能性がある。

- ・ 難易度と授業満足度には相関がなかった。
 - 全体として難易度を高めても、授業満足度を高めることができていない。
 - オンデマンド講義ではマイナスの値となっており、難易度の設定に改善の余地がある可能性がある。

- ・ わかりやすさと授業満足度は正の相関であった。
 - 対面授業科目はわかりやすさと授業満足度には中程度の正の相関があるため、講義資料の作成や授業方法など工夫を行うことで、授業満足度の向上につながる可能性がある。

- ・ 興味関心は、指示の適切性や双方向性、わかりやすさと関係しているだけでなく、相互に関係している。
 - 丁寧な講義を行うことで、講義満足度を高めると考えられる。

- ・ オンデマンド講義には課題分量と授業満足度の間には弱い負の相関があった。
 - 課題分量が増加すると授業満足度が少し低下する傾向にあるため、課題の分量について全体として調整または情報共有を行う必要があると考えられる。